



大切に当たり前だけど難しい…

「尊厳を守る(権利擁護)」を考える



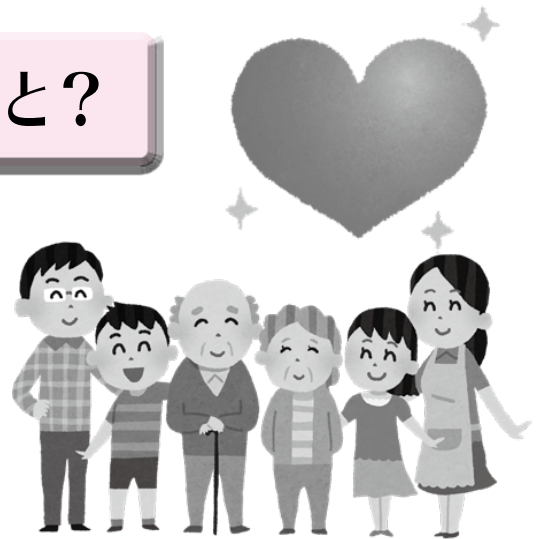
問 高齢福祉課 地域ケア推進係

■「尊厳を守る」ってどういうこと？

私たちは普段、あまりにも当然に自分なりの生活を営んでおり、自分なりの生活を送ることに「人権」や「権利」が深くかかわっているという感覚を持っていないことが多いのではないのでしょうか。

どこに住み、何を買い、何を食べ、何時に寝て、どこへ行くか行かないか、どのようなサービスを利用しそこに対価を払うのか…これらを決定するのは自分自身であり、その生活は一人ひとり違っているものです。そして、地域において尊厳ある生活をこのように営んでいくことは、全ての人に「権利」として保障されています。

「尊厳を守る」ということは、「その人の人格を尊重し、その人が自分のことを自分で決め、自分らしく生きることを大切にすること」と言い換えられます。高齢となり、認知症やその他の疾患で心身機能の低下や判断能力が不十分になったとしても、「自分のことを自分で決め、自分らしく生きる」権利を奪われることはありません。



■こんな場面ありませんか？

- ①本人のことは家族が一番よく分かっているからと、ご家族が良かれと思って、**本人の代わりに全部決めてしまっている。**
- ②本人が何らかの意思表示をしたとしても、「客観的にみて適切ではない、不合理だから」と考慮せずに、**「これが本人のためだから」と決めてしまっている。**

このような家族や支援者からの扱いが続くことで、本人は、「自分のことを自分で決め、自分らしく生きる」ことをあきらめてしまうようになってしまうかもしれません。

本当は…
違うんだけど…



■「自分で決め、自分らしく生きる」を応援するためのポイント

①「〇〇したい!」という思いをつくることの支援

- ・本人が「〇〇したい!」という意思を形成するのに、**必要な情報が説明されていますか。**
- ・言葉だけではなく、**文字にして確認**できるようにしたり、図や表を使って説明していますか。
- ・本人が理解している**事実**に誤りがないですか。

②「〇〇したい!」を表明することの支援

- ・本人と**時間をかけてコミュニケーション**を取っていますか。決断を迫るあまり、ご本人を焦らせていませんか。
- ・本人が**慣れた場所で、話しやすく安心する人**が聞き取ったり、同席するなど、環境に配慮していますか。
- ・本人の表明した意思は、時間の経過や本人が置かれている状況等によって変わることもあります。**最初に示された意思にこだわらず、その意思を確認**していますか。

③『〇〇したい!』を実現するための支援

- ・本人の**出来ることを最大限に活かす**ことへの配慮をしていますか。
- ・家族/近所/専門職などチームによる支援や社会資源(介護保険制度や成年後見制度など)など、**利用できる様々な手段の検討**をしていますか。

